

# 平成27年度「全国学力・学習状況調査」における 千代小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。  
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

## 1. 調査の目的

(1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育

施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数, 理科)

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none"><li>身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>実生活において不可欠であり、常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li><li>様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力</li></ul>

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

# 千代小学校「平成27年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

## 1. 教科に関する調査結果の概要

### ① 学力調査(国語A・B, 算数A・B, 理科)結果

		国語A	国語B	算数A	算数B	理科
平成25年度	本市	60.3	46.3	74.6	56.5	
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	
平成26年度 (理科：平成24年度)	本市	69.1	52.6	76.2	55.4	59.7
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2	60.9
平成27年度	本市	67.1	62.1	73.3	43.7	57.3
	全国	70	65.4	75.2	45	60.8

### ② 学力調査結果の分析

国語A	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均をやや上回っているが、言語における知識理解等に課題がある。</li> <li>・漢字を書く問題において課題があり、積み重ねによる学習が必要である。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える問題においては、正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題においては、無回答率が高かった。	

国語B	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均をかなり上回っている。昨年度よりも伸びてきている。</li> <li>・自分の考えについて記述することに苦手意識を持つことが少なくなってきたり、意欲的に問題に取り組んでいる。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	目的に応じ、中心となる語や文を捉える問題は、正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く問題においては、無回答率が高かった。	

算数A	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均をかなり上回っているが、小数を含んだ四則計算について課題がある。</li> <li>・算数の計算についての力が不足しており、基礎的な計算力を身に付ける必要があった。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求める問題においては、正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解する問題においては、無回答率が高く、正答率も低かった。	

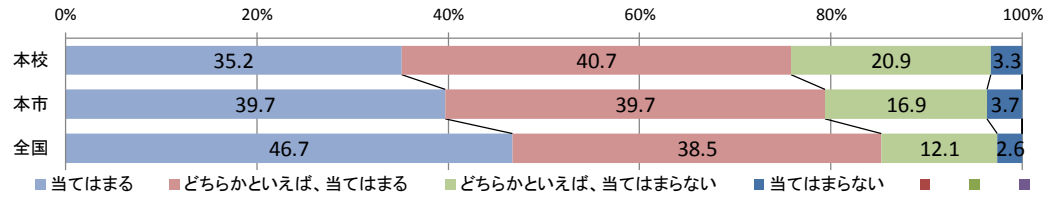
算数B	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均をかなり上回っており、記述式の問題にも積極的に取り組んでいる。</li> <li>・応用的な問題について、やや苦手意識をもっている傾向にあるため、数学的な考え方を身に付ける学習を深めていく必要がある。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述する問題においては、正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求める問題においては、正答率が低かった。	

理科	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国平均をやや上回っているが、区分ごとにA区分、B区分共にばらつきが見られる。</li> <li>・物質の科学的な思考判断において課題が見られるため、実験や観察等の体験を通じた学習において、それぞれの性質について整理し、考える力を身に付ける必要がある。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	メシリンダーの名称や定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付ける問題では、正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	顕微鏡の名称や適切な操作方法についての問題では、正答率が低かった。	

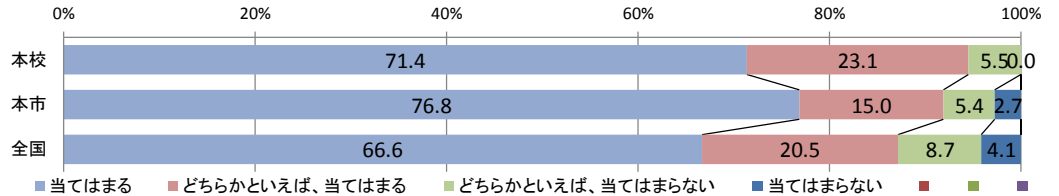
③ 学校での学習状況に関する調査結果

質問番号
質問事項

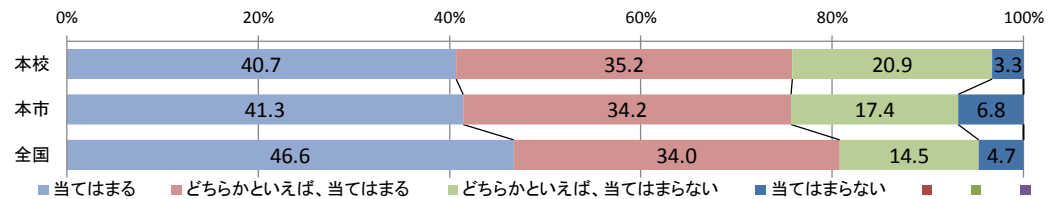
39
授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。



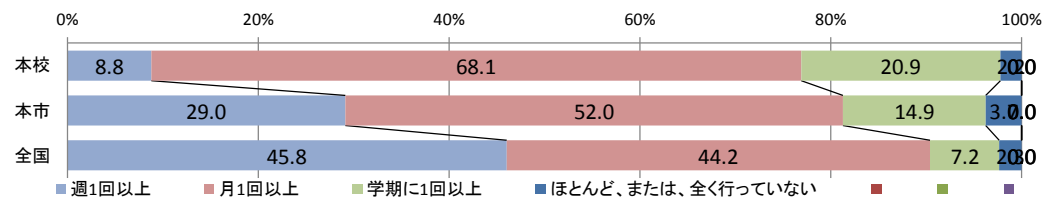
43
授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか。



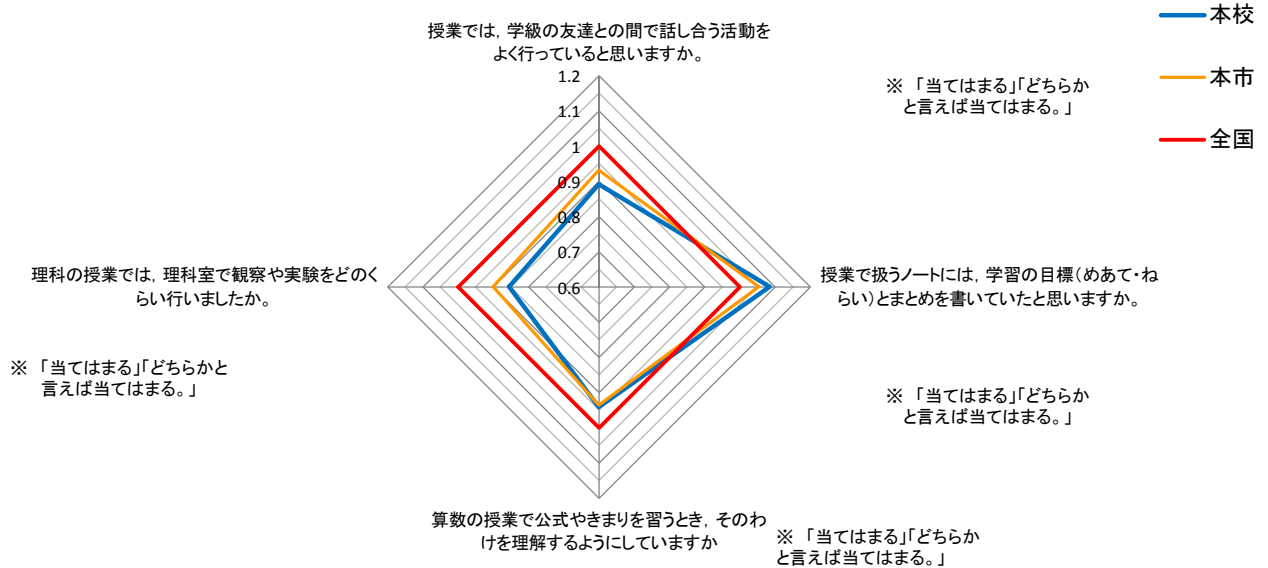
66
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



77
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。



④ 本校と本市の対全国比(全国を1とする)



⑤ 学校における学習状況に関する調査結果の分析

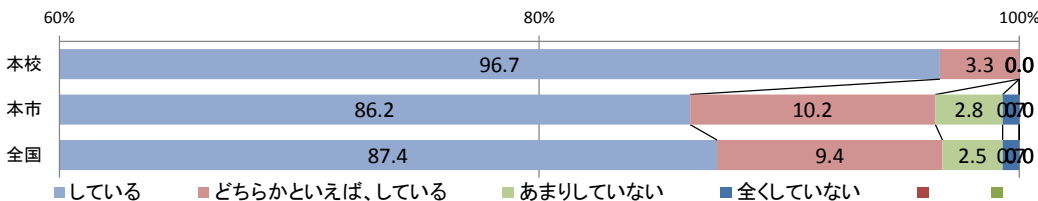
- ・授業においては、めあてやまとめ等を示し、児童が目標をもって学習に取り組んでいる。学校の主題研究で示したノート指導を行い、学習内容を整理してまとめ、担任がチェックをきめ細やかにチェックしているため定着している。
- ・自分の考えを書くことについては抵抗がないが、友だちと意見を出し合って考えを深めたり、広げたりする機会が少なかったためか、やや人前で発表することに苦手意識をもっている。
- ・学習内容を受身的に理解する能力は高いが、体験的な学習や事象に対する根拠をもって考える機会や観察実験等、体験的学習活動が不足気味である。

## 2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

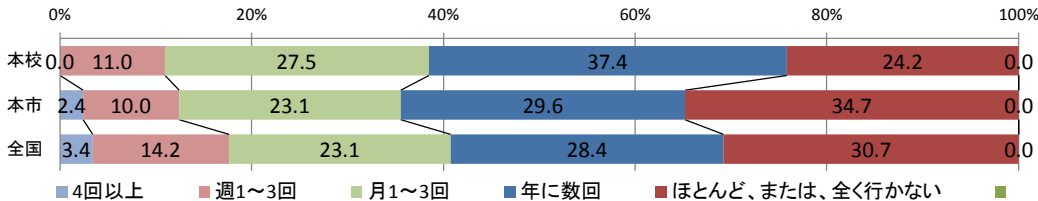
### ① 家庭学習習慣に関する調査結果

質問番号
質問事項

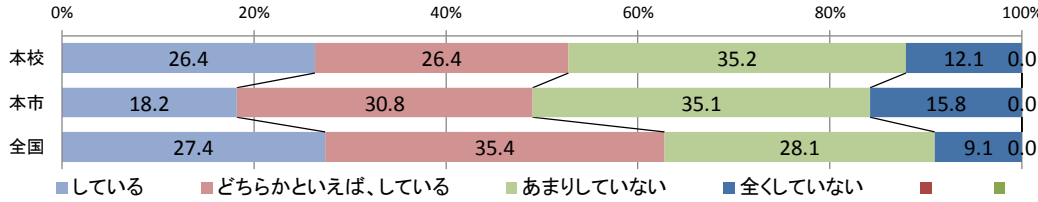
21
家で、学校の宿題をしていますか。



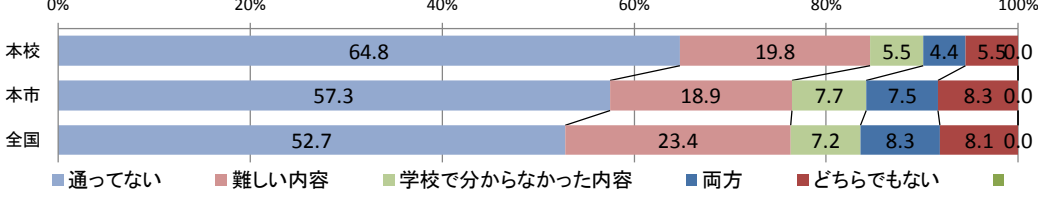
17
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。



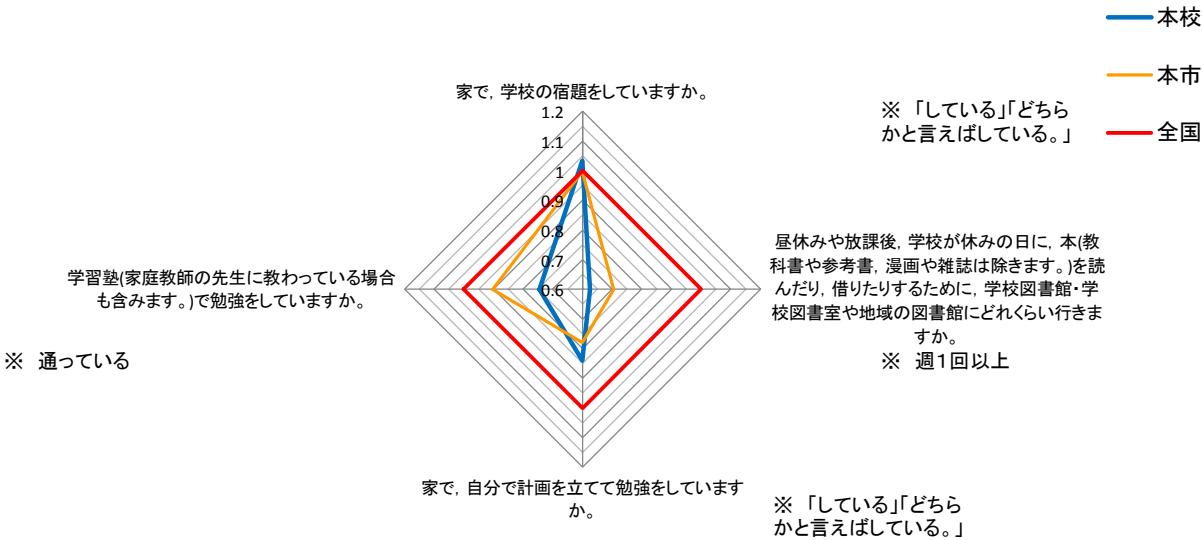
20
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



15
学習塾(家庭教師の先生に教わっている場合も含まれます。)で勉強をしていますか。



### ② 本校と本市の対全国比(全国を1とする)



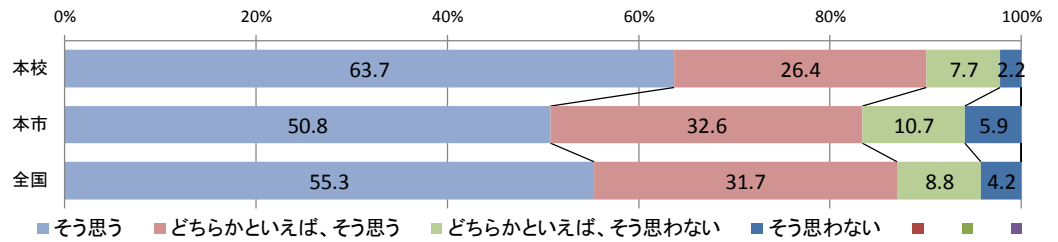
### ③ 家庭学習習慣に関する調査結果の分析

・学習塾等を利用する児童は、全国的にみても少なく、学校における学習が中心となっている。  
 ・学校から出される決められた量の宿題をきちんとこなすことにより、今回のような結果を得ることができているといえる。このように、宿題を教師がきめ細やかにチェックすることによって、基本的な家庭学習の時間を確保し、学校での学習内容を定着させるよう努めている。  
 ・家庭学習においては、児童が自分で計画を立てて学習をしたり、進んで読書をしたりする習慣が身に付いていない。

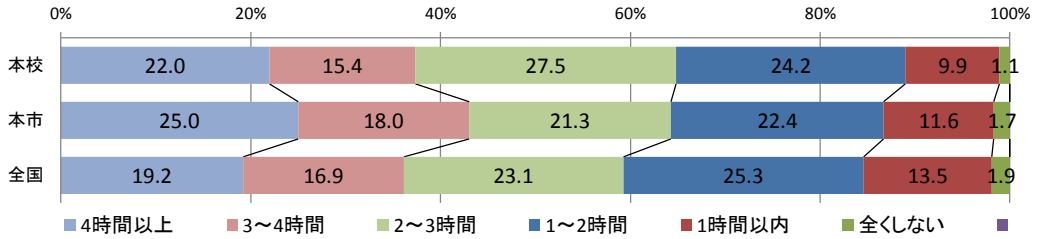
④ 生活習慣等に関する調査結果

質問番号
質問事項

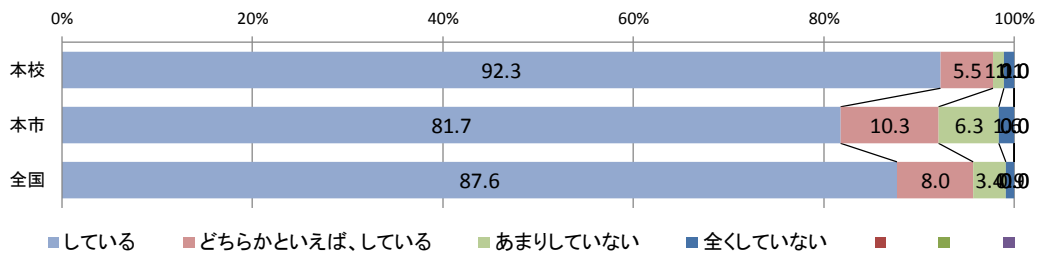
24
学校に行くのは楽しいと思いますか。



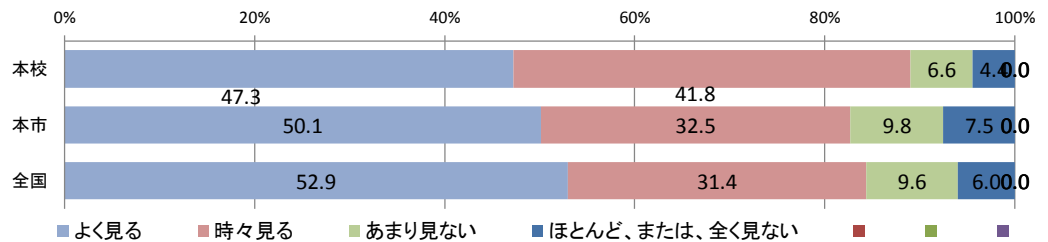
10
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除きます。)



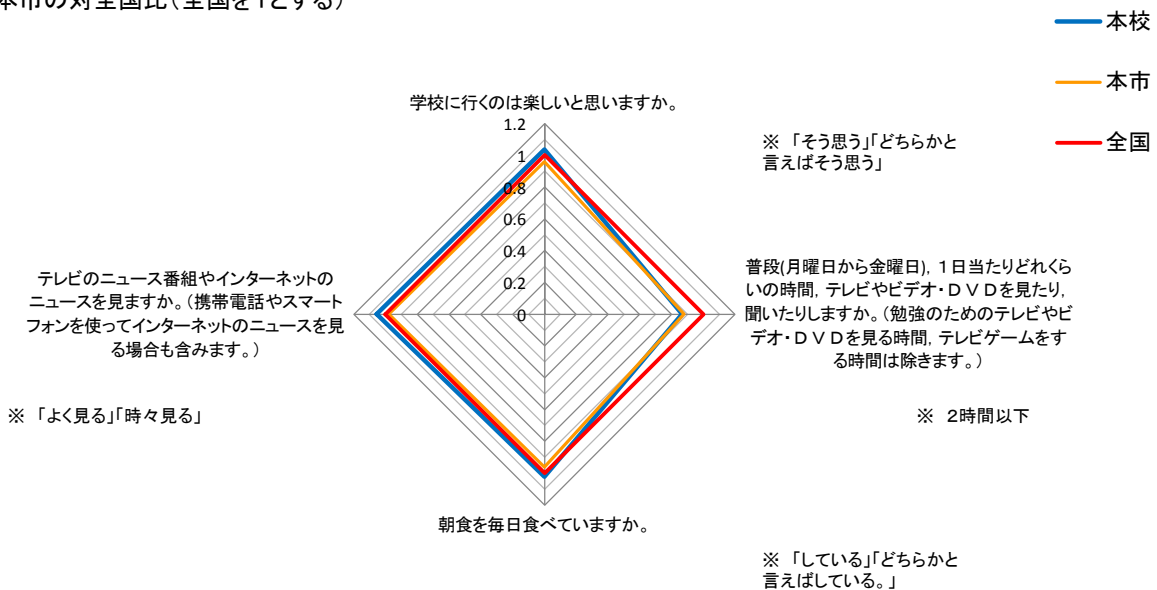
1
朝食を毎日食べていますか。



31
テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含まれます。)



⑤ 本校と本市の対全国比(全国を1とする)



⑥ 生活習慣等に関する調査結果の分析

・全体的に早寝・早起き・朝ご飯等の規則的な生活が身に付いている。・何等かのメディア(インターネットやテレビ)を利用してニュース等で世の中の動きに関心をもち、知ろうとしている。ただ、新聞等の活字によるものは大変少なく、動画によるものが多い。  
 ・学校生活においては、学習やその他の活動において意欲的に取り組み、楽しんでいる。  
 ・テレビ等を見る時間が1日に2時間以下の児童が少ない。テレビやビデオを見る時間がやや多めである。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組(全校・学年・学級・教科毎の取組)

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・本校の課題としては、自分の考えを進んで表現することや基礎的・基本的な学習内容の定着について課題が挙げられる。そこで、手立てとして以下の点について取り組む。

①一人一人が考えをもち、自信をもって表現することができるようにするために毎時間の授業で、ノートに自分の振り返りを書き、発表する機会を設ける。

②朝自習において、以下の内容で取り組む。

月曜日・・・家庭学習のチェック価値づけ 火曜日・・・計算練習

水曜日・・・朝読書 木曜日・・・漢字学習

金曜日・・・MIM(全校における取組)による基礎的・基本的な学習内容の定着

③宿題等で、アシストシートやWEB配信された算数プリントを計画的に行ったり、過去問練習を特設したりして、学力テストやCRTのテスト形式に慣れることができるようにする。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習においては、学校から出される宿題等決められたものについては、きちんと行われているが、自ら進んで計画を立てて実践する学習については、取り組まれていないことが課題として挙げられる。

よって、以下の手立てを講じる。

①保護者懇談会等を利用し、再度「家庭学習チャレンジハンドブック」等の活用方法について説明する。このことにより、保護者への啓発、意識改革を行い家庭学習への取組を推進する。

②学年間の情報交換や自学ノートの掲示、家庭学習マイスターに応募する等の実践を行う。

③学校HPや学校だよりでの家庭学習について効果的な方法について配信等により、取組内容を広報する。